

1. 科目名 (単位数)	生活 (小) (2単位)	3. 科目番号	EDEL3308
2. 授業担当教員	坂本 史生		
4. 授業形態	プレゼンテーション、ディスカッション、グループ学習、フィールドワーク、講義等	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・他科目との関係			
7. 講義概要	身近な人や社会、自然と直接かかわる具体的な活動や体験の中で、幼児・児童等に生まれる気づきの重要性を理解する。日常生活の中で感じる興味、関心から、自分自身や自分の生活について考えさせ、その過程を通して、基本的な生活習慣、思考力、理解力、社会性を育成する。また、地域の環境や幼児・児童等の発達段階に応じた生活教育のあり方について学ぶ。これらを通じて、児童の自立の基礎作りを行うための指導について、求められる生活科の授業実践の力量(授業力)を身に付けることができるようにする。		
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 生活科の活動の構成原理を学び、生活科の趣旨や目標、内容に関するポイントが説明できるようになる。 子どもは、普段どんな人々と関わり、何に興味を持っているか、普段の生活の様子を観察することを通して知り、発表できるようになる。 身近な自然を利用したり、身近にある物を使ったりして、遊びや遊びに使う物を作ることができるようになる。 地域調査や生活科で扱う植物・生き物について調べる活動などを通して、それぞれの地域の自然についてその特徴や面白さについて理解する 子どもの生活に関係した、効果的な教材を作ることができるようになる。 		
9. アサイメント(宿題)及びレポート課題	<input type="radio"/> 子どもの観察 <input type="radio"/> 教材研究 <input type="radio"/> レポート課題1000字程度		
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】文部科学省『小学校学習指導要領解説 生活編』東洋館出版		
11. 成績評価の規準と評定の方法	<input type="radio"/> 成績評価の規準 <ol style="list-style-type: none"> 生活科の目標や内容、特徴を理解できているか。 生活科の目標や内容、特徴を理解した上で、自分なりの意見や考えを表現できているか。 <input type="radio"/> 評定の方法 [授業への積極的参加度、日常の受講態度、レポート等を総合して評価する。] <ol style="list-style-type: none"> 授業への積極性(発言等) 総合点の20% 日常の学習状況(出席・提出物) 総合点の30% 課題レポート(中間・期末) 総合点の50% 		
12. 受講生へのメッセージ	低学年児童の具体的な活動や体験を通じた授業を行うためには、教師が子どもの体験の世界や身の回りの環境に目を向けるとともに、子どもに負けない知的好奇心・探究心を持っていることが大切です。グループでの取組には、自発的・能動的に活動することを望んでいます。		
13. オフィスアワー	初回授業時に伝える。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	オリエンテーション シラバスから生活の学習の概要を知り、学習の計画を立てる。	事前学習	自分の身近な子どもを観察する。
		事後学習	生活科の活動の構成原理について要点を整理する。
第2回	子どもの理解と子どもを取り巻く環境 子どもの生活や生活環境について考え、子どものイメージマップを完成させる。	事前学習	自分の身近な子どもを観察する。
		事後学習	学習のまとめをする。
第3回	生活科の教育原理(人、社会、自然から直接学ぶ等) 生活科の目標から、生活科の教育原理をとらえる。	事前学習	自分の身近な子どもを観察する。
		事後学習	学習のまとめをする。
第4回	生活科の内容構成 生活科の内容を読み、目標、学習活動、子どもがどのようにしたら学びができたといえるか話し合い教材研究の仕方を考える。	事前学習	生活科の原理について自分なりのまとめをしておく。
		事後学習	教材研究の在り方を整理する。
第5回	生活科の内容と教材研究 生活科の内容を読み、目標、学習活動、子どもがどのようにしたら学びができたといえるか話し合い教材研究の仕方を考える。	事前学習	学習指導要領を読んでおく。
		事後学習	教材研究について整理しておく。
第6回	生活科の素材集め・教材研究(1) グループで地域を巡り、学習素材を収集する。	事前学習	街の様子に気を配りながら歩き、情報を収集する。
		事後学習	子どもが発見しそうな素材に留意しながら街を歩く。
第7回	生活科の素材集め・教材研究(2) グループで地域を巡り、学習素材を収集する。	事前学習	街の様子に気を配りながら歩き、情報を収集する。
		事後学習	子どもが発見しそうな素材に留意しながら街を歩く。
第8回	生活科の素材集め・教材研究(3) グループで地域を巡り、学習素材を収集したことをまとめる。	事前学習	収集した情報をまとめておく。
		事後学習	公共施設及び、安全面に対する配慮に関する情報を、まとめる。
第9回	生活科の指導計画の作成と内容の取り扱い 生活科の内容に則して収集した素材についてグループごとに発表をする。	事前学習	発表の手順及び内容と方法を考える。
		事後学習	他のグループの発表を聞き、自身のグループのまとめと比較したりしながら、生活科の内容への理解を深める。
第10回	生活科の学習指導の進め方 生活科の授業をみて、この活動までにどのような準備が必要か考える。	事前学習	生活科の授業の展開について考える。
		事後学習	実際に自身が授業者となったときのイメージを膨らませ、具体的な展開を考える。

第11回	指導に生きる評価（生活科の評価の考え方・特質・進め方） 生活科の評価の在り方について考える。	事前学習	生活科の評価について、資料を探しておく。
		事後学習	評価の仕組みについて、学習したことを整理しておく。
第12回	生活科の指導案の書き方 自分で選んだ単元に基づいて指導のポイントを考える。	事前学習	設定する単元を決めておく。
		事後学習	他の発表を聞き、参考になった点や気づいたこと、感想などをまとめる。
第13回	学習指導案の批判的検討 作成した指導案を基に、グループで発表しあう。	事前学習	指導案を作成する。
		事後学習	他の人の指導案のよいところを整理する。
第14回	新しい教育課程での生活科の意義 教育課程における生活科の学習の意義について考える。	事前学習	生活科改訂の趣旨について、教科書を読んでおく。
		事後学習	生活科の意義について、改めて考え、整理する。
第15回	まとめと課題レポートの発表 生活科で学んだことをまとめ、レポートを発表する。	事前学習	生活科のレポート課題をまとめておく。
		事後学習	生活科と他教科や総合的な学習の時間とのつながりについて考察をまとめる。